

科目名	東洋史	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群		
			全学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Asian History	開講年次	■1年 ■2年 ■3年 ■4年		
		開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中		
ふりがな	わたぬき てつろう	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	綿貫 哲郎	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	「東北アジア史」を学びます。私たちの住む日本が中国やロシアとの関係で緊張感をもつ今、地理的に接する東北アジアの「地理」と「民族」の歴史を中学・高校までの学習とは異なるアプローチで理解しておく必要があります。東北アジアについては、「国家」(国境線で隔てて考えるのではなく)よりさらに深い、中国やロシアが国家に組み込むはるか以前より現地に居住している「民族」の立場よりの確に考えることができるようになる。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を習得できます。 1. 「民族」というものが、昔から今まで固定化されたものではなく、流動的である(例えば、蝦夷[えみし・えぞ]の後裔はみなアイヌ人なのか?)という本来の知識が身に付く。 2. 「国家」間の問題を考える際、国家の「政治的な言い分」とは別に、国家(中国やロシア)に組み込むよりはるか以前より現地に居住する「民族」の立場で説明できるようになる。 3. 中国とロシアとの問題(主に沿海州について)、日本とロシアとの問題(主に樺太問題について)、和人とアイヌ人との問題(和人がアイヌ人を虐げてきた歴史など)について、歴史的に説明できるようになる。				
授業概要	「東北アジア」における近代以前の社会は、13世紀以降に世界史レベルのダイナミックな動きと連動し、日本とも深く関わることで変化に富む時代を経験します。日本(主に現在の北海道・東北地域)を含んだ東北アジア(現在の中国東北部・ロシア沿海州・樺太)地域の中世後期から近代までを学びます。				
授業計画					
第1回	ガイダンス、導入				
第2回	モンゴル帝国の樺太遠征:「元寇」との関係				
第3回	明朝の北方政策と「アイヌ」:アムール川下流域と樺太支配(1)				
第4回	東北アジアから見た津軽十三湊の安東氏と蝦夷:国際貿易港「十三湊」				
第5回	東北アジアにおける女真社会と交易:狩猟漁撈社会の実態				
第6回	清朝によるアムール川下流域支配:清朝とロシアとの抗争				
第7回	ネルチンスク条約と辺民制度の完成:アムール川下流域と樺太支配(2)				
第8回	蝦夷島主蠣崎(松前)氏				
第9回	無高の大名・松前氏				
第10回	江戸時代による北方調査と幕領化				
第11回	サンタン交易と間宮林蔵が見たアムール川下流域の人々				
第12回	辺民による清朝への朝貢とナヨロアイヌ				
第13回	カラフトナヨロ文書などに見る清朝・日本のカラフト支配				
第14回	サンタン交易の終焉				
第15回	おわりに				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業前には、シラバスや授業プリント(レジュメ)にあるキーワードで不明な部分を調べておいてください。(1.5時間程度) 2. 前回講義内容と地理情報の復習をしっかりとこなってください。(1.5時間程度)				

履修条件 受講のルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校歴史・高校世界史の教科書の東北アジアに該当する部分や地図帳にある地域名・河川名・山脈名などの位置を理解できる/調べられる学生とします。</li> <li>・歴史が歴史的イベントのキーワード（年号や人名・地名など）を暗記する科目ではないことを理解し、経緯（イベント発生理由、過程や歴史的背景など）が重要であることを理解する心構えがもてる学生とします。</li> <li>・授業プリント（レジュメ）は、あくまでも授業の流れや史料を載せているだけなので、レジュメ内容を纏めただけでは定期試験に及第できません。授業内でその意味を解説します。史料のキーワードや文脈などが何を指しているのか・示しているのか・どのような内容なのかを必ず理解してください。講義を通じて別途ノートを纏められる学生とします。</li> </ul>
テキスト	使用しません（授業プリントを配付します）
参考文献・資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 間宮林蔵ほか『東韃地方紀行他』（東洋文庫 484、平凡社、1988年）</li> <li>2. 佐々木史郎『北方から来た交易民—絹と毛皮とサンタン人』（HNK出版、1996年）</li> <li>3. 西村三郎『毛皮と人間の歴史』（紀伊国屋書店、2003年）</li> <li>4. 天野哲也・臼杵勲・菊池俊彦 [編]『北方世界の交流と変容—中世の北東アジアと日本列島』（山川出版社、2006年）</li> <li>5. 榎森進『アイヌ民族の歴史』（草風館、2007年）</li> </ol> <p>【順不同、購入の義務はありません】</p>
成績評価の方法	<p>【授業態度（40%）・筆記試験（60%）】</p> <p>上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席確認時に不在だった場合は、欠席とします。</li> <li>・授業中に無許可で退出した場合は、欠席とします。</li> <li>・授業中に無許可でイヤホンなどを使用した場合は、欠席とします。</li> </ul> <p>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	集中講義のため、授業の前後に教室にて受け付けます。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	
学生への メッセージ	ここ秋田を最南端とする「東北アジア史」を授業で取り上げます。中学歴史・高校世界史（あるいは高校日本史）でほとんど学ぶことがなかった地域を取り上げることで、教科書の知識にとどまらない、幅広い教養や民族の交流を知ることができます。